

プラント状況確認結果(平成 29 年 3 月 21 日～平成 29 年 3 月 28 日)

平成 29 年 3 月 28 日
福島県原子力安全対策課

平成 29 年 3 月 21 日～平成 29 年 3 月 28 日までの期間に、東京電力から福島第一原子力発電所 1～4 号機のプラント状況に関する報告内容について、県が確認した結果は次のとおりであり、前回の報告から大きな変動はありません。

(1) プラント状況 (3 月 28 日午前 5 時)

場所	目的	監視項目	1 号機	2 号機	3 号機	4 号機 ^{※2}
原子炉 ^{※1} (核燃料)	冷却	注水量 (m ³ /h)	3.0	2.9	2.9	—
		圧力容器 下部温度 (°C)	14.6	20.1	18.4	—
	未臨界確認	キセノン 135 濃度 ^{※3} (Bq/cm ³) (A 系)	1.12×10 ⁻³	検出限界値 未満	検出限界値 未満 ^{※4}	—
圧力容器	水素爆発防止	窒素充填	充填中	充填中	充填中	—
格納容器		水素濃度 (体積%) (A 系)	0.01	0.03	0.05 ^{※4}	—
使用済燃料 プール	冷却	水温 (°C)	25.5	27.2	26.7	14.0

※1 直近データのみ記載。詳細は[東京電力のページ](#)を御覧ください。

※2 4 号機は原子炉に燃料が入っていないため空欄。

※3 実施計画に定める制限値は、1 Bq/cm³以下である。

※4 作業に伴う A 系のデータ欠測により、B 系の値を記載。

(2) 発電所敷地境界におけるモニタリングポストの測定結果 (3 月 28 日午前 10 時)

最小 0.534 (MP-6) ～ 最大 1.888 (MP-4) マイクロシーベルト/h →[計測地点の地図](#)

(3) 発電所専用港内の海水中セシウム 137 濃度の測定結果 (3 月 26 日採取分)

最小 検出限界値未満 (物揚場前) ※検出限界値は約 0.49 Bq/l
～ 最大 3.0 (1～4 号機取水口内南側)

(4) 発電所専用港外(沿岸)の海水中セシウム 137 濃度の測定結果 (3 月 26 日採取分)

5,6 号機放水口から北側に 30m : 検出限界値未満 ※検出限界値は約 0.68 Bq/l
1～4 号機放水口から南側に 1.3 km : 検出限界値未満^{※5} ※検出限界値は約 0.53 Bq/l
※5 台風 10 号の影響により、試料採取地点の安全が確保できないため、代替として T-2 地点 (1～4 号機放水口から南側に約 330 m 地点) において試料を採取 (2016 年 9 月 16 日～)。さらに、1～4 号機放水口から南側に約 280 m 地点へ移動して試料を採取 (2017 年 1 月 27 日～)。

(5) 発電所敷地内の大気中セシウム 137 濃度の測定結果 (3 月 27 日採取分)

西門 : 検出限界値未満 ※検出限界値は約 1×10⁻⁷ Bq/cm³

(6) 1～6 号機タービン建屋付近のサブドレン水中セシウム 137 濃度の測定結果 (3 月 24 日採取分)

最小 検出限界値未満 (3、4、5、6 号機) ※各検出限界値は約 5.3、5.0、3.9、5.1 Bq/l
～ 最大 290 (2 号機) Bq/l

(問い合わせ 024-521-7255)